

# 平成 27 年度 事業報告

## 1. 事業概要

現在、人口構造の急速な高齢化と人口減少が同時に進行する中で、我が国の活力を維持、増進していくためには、年齢にかかわらず、自立して共に社会参加し、支えあう取り組みが不可欠となっており、高齢者の働く場や社会参加の場を提供する機関としての役割が求められているシルバー人材センターには、大きな期待が寄せられているものと思っています。

このような中、今年度の実績は、昨年度に比べ、契約金額と就業率においては減少したものの、会員数、受注件数、就業延べ人数等においては上回りました。

就業機会の提供はもとより、会員の就業能力の向上、ボランティアの実施等社会参加活動にも積極的に推進し、今後とも「自主・自立・共働・共助」のもと、なお一層事業発展のため努力を続けていきたいと思っております。

平成 27 年度の実績は、下記のとおりとなっております。

3 月末現在

	平成 27 年度 実 績	前年度(26) 実 績	比 較 (対前年度)
会員数	267 人	265 人	2 人
受注件数	473 件	471 件	2 件
契約金額	79,529,834 円	85,281,790 円	△5,751,956 円
就業率	75.7%	78.1%	△2.4%
就業延人員	14,860 人日	13,261 人日	1,599 人日

## 2. 事業実施報告

### (1) 就業機会の確保・提供及び会員拡大

① 定期的に公共施設や民間及び各種事業所等を訪問し、就業機会の開拓を図ってまいりました。

② 毎月入会説明会を実施し、会員の拡大を図るとともに、特に女性会員の拡大に向け努めてまいりました結果、女性会員は増えたものの男性の入会が少なく、今後とも拡大に向け取り組む必要があります。

実績：会員数 上記表のとおり。

女性会員 64 人(約 23.9%) ※前年度 57 人(約 21.5%)

(2) 職業紹介事業の実施

雇用による就業を希望する会員及び高齢者を対象に、職業紹介に備えましたが実績に結び付けることができませんでした。

(3) 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

派遣による就業を希望する会員を対象に、一般労働者派遣事業による就業機会の提供に努めてまいりました。

実績：2件（派遣人数6人）

(4) 技能講習の実施

就業上必要な知識、技能等の向上を図るため、講習会、研修等を実施してまいりました。

実績：刈払機・チェーンソー取扱い講習1回

福祉・家事援助研修1回

(5) 普及啓発

- ① ホームページや会報、チラシ、パンフレット、市広報等を活用し、普及啓発活動を展開してまいりました。

実績：ホームページによる啓発・シルバーだより(2回発行)による啓発市広報誌(市民のひろば)への掲載3回・チラシ等配布

- ② 全国シルバー普及啓発促進月間(10月)中において、横断幕の設置、会員、役職員自らチラシを配布するなど、積極的に取り組んでまいりました。

実績(期間中)：ボランティア(21世紀ビーチクリーン活動)

交流グラウンドゴルフ大会・チラシ等配布

- ③ 名護市福祉まつりに参加し、会員の作品や活動写真等を展示し、センターの普及啓発に努めてまいりました。

(6) 安全・適正就業の推進

- ① 安全就業基準を遵守するとともに、会員の健康維持と安全・適正就業の周知を図ってまいりました。

- ② 安全・適正就業委員会による就業現場指導、安全就業推進員による就業現場への巡回指導を実施し、安全用具着用の励行と就業中及び出勤帰宅時の事故防止等安全意識の高揚に努めてまいりました。

実績：安全・適正就業委員会の開催3回

安全・適正就業委員会による就業現場指導1回

安全就業推進員による就業現場指導48回

安全講習会1回

(7) 調査研究

時代の要請に対応した事業展開及び会員の就業意識の向上を図るため、高齢者のシルバー人材センターに対する意識調査を集約し調査結果を公開実施いたしました。

- (8) 就業分野の開拓・拡大  
就業機会開拓員を配置し、一般家庭、事業所、官公庁を訪問し、就業の開拓、会員の就業機会の確保、拡大に努めてまいりました。  
実績：開拓員活動 24 回
- (9) 相談・情報提供  
① 入会を希望する高齢者を対象に入会説明会を実施し、高齢者からの相談に対応するほか、雇用や就業等に係る相談、情報提供に努めてまいりました。  
実績：入会説明会 12 回  
② ホームページや会報により、情報提供に努めてまいりました。
- (10) 地域ニーズ対応事業  
二見以北地域において、市の受託事業としてシルバーハッピーライフ事業（買い物弱者支援事業）を実施してまいりました。  
実績：2,579 件 803 人日
- (11) 社会参加活動の推進  
ボランティア活動を通じ、社会参加活動を一般市民と連携して実施してまいりました。  
実績：活動人数(延べ) 251 人 ※目標値 250 人  
21 世紀モデル花壇の花植え・さくら祭り会場の清掃  
施設慰問等
- (12) 独自事業の実施  
会員の知識と経験を生かし、会員が独自の創意と工夫により企画し、会員の仕事を広げるために、市及び関係団体と連携し、独自事業を実施するものであります。今年度も、昨年より継続して三味線教室を実施してまいりました。また新たに会員による作品等を販売いたしました。  
実績：三味線教室・作品等販売（クラフト・エコバック等）
- (13) 福利厚生への推進  
会員相互の親睦と連帯意識の高揚を図るため、グラウンドゴルフ大会や新春の集いなどを実施し、会員の交流を深めました。

### 3. 運営体制

- ① センター運営体制を強化するため、理事会及び専門部会の活動充実を図ってまいりました。  
実績：理事会開催 12 回 ・ 専門部会開催 3 回
- ② 会員参画型運営を確立するため、職群班の強化に努めてまいりました。  
実績：職群班会議 随時

- ③ 事業を円滑に、効率的に推進するためには事務局の体制が重要であります。今年度もシルバーハッピーライフ事業1名(嘱託職員)を継続し、昨年同様6名体制で事業運営の促進を図ってまいりました。
- ④ 総会、新春のつどい等を通じ理事会と会員の連携を図ってまいりました。
- ⑤ 厳しい財政状況の中、会員及び役職員が一体となって事業の拡大、会員の増、事務費等の自主財源の確保に努めてまいりました。